

第  
31  
号

# コープCSネット

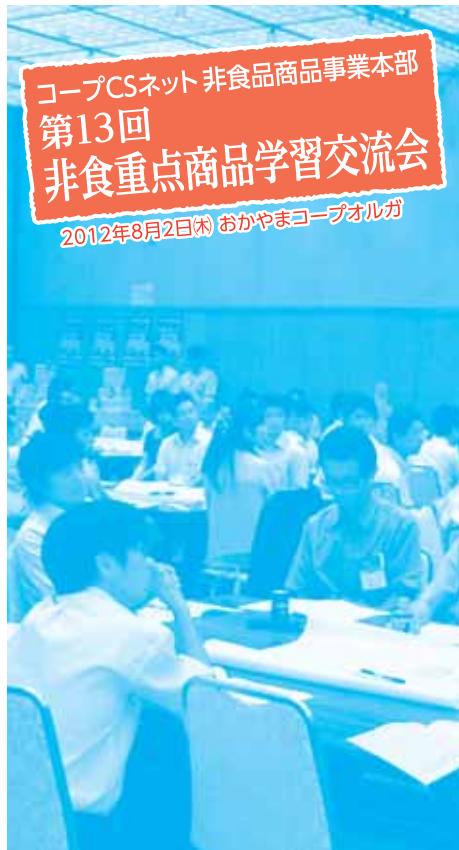
中国・四国

生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報

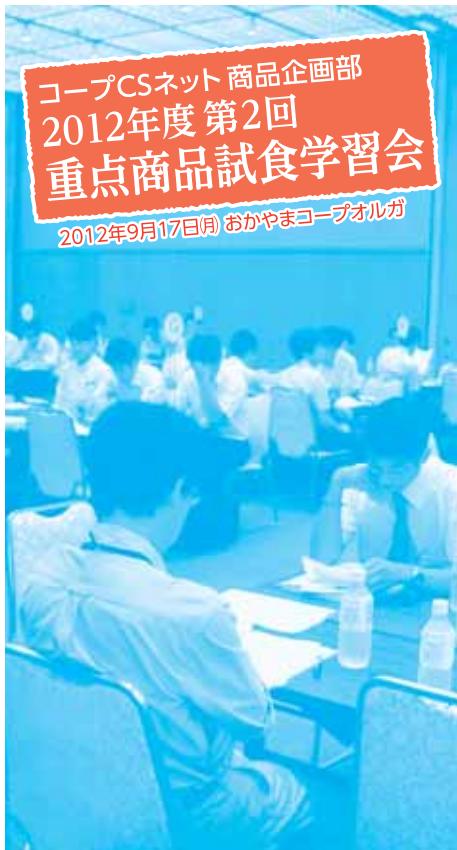
とどり しね おかは ひらしま やまち  
びほ かがわ えひめ こうち  
便り

発行  
2012年10月5日  
通巻31号

## co·op 9生協の夢広がるネットワーク



コープCSネット 非食品商品事業本部  
第13回  
非食重点商品学習交流会  
2012年8月2日(木) おかやまコープオルガ



コープCSネット 商品企画部  
2012年度 第2回  
重点商品試食学習会  
2012年9月17日(月) おかやまコープオルガ



第9回  
仲間づくり研修会  
2012年8月16日(木)~8月18日(土)  
山口県宇部市COCOLAND山口・宇部

### 2012年度上期 コープCSネット開発商品紹介



広島県産大豆使用麦こうじみそ  
2012年5月



有明海産味付のり  
2012年5月



広島県産小さいわしサクッと天ぷら  
2012年5月



朝日米を使った梅としらすのピラフ  
2012年8月



北海道産大豆の小粒納豆  
2012年9月



牛肉たっぷりコロッケ  
2012年9月

### CONTENTS

ページ

- ② 尾道冷凍セットセンター  
コープCSネットOCRセンター
- ③ 東日本大震災復興支援活動
- ④ 第13回非食重点商品学習交流会
- ⑤ 2012年度第2回重点商品試食学習会
- ⑥ 第9回仲間づくり研修会
- ⑦ 2012年上期コープCSネット  
開発商品紹介
- ⑧ 2012年もずく基金積立状況  
「もずく基金」产地見学 生産者交流

# 尾道冷凍セットセンター いよいよ本格稼動!!

コーポCSネットでは広島県尾道市にある尾道流通センターの第2期事業計画として「尾道ドライセットセンター」隣の敷地に建築面積4,582坪 延床面積5,463坪地上2階建ての「尾道冷凍セットセンター」を建設しました。

2012年9月1回より生協ひろしまを皮切りに順次移行し、2012年10月1回（商品お届け10月1日（月））より中国5県会員生協で取扱う冷凍商品のセットを開始しました。また、四国4県会員生協で取扱う「味彩」「ふあみーゅ」の冷凍商品の通過物流拠点でもあります。

この施設は、すでに稼動しています尾道ドライセットセンターと同様、コーポCSネットが運営主体として日本生活協同組合連合会に業務委託を行う共同事業としての取り組みとなります。

「尾道冷凍セットセンター」の稼動によって、冷凍商品の品温・品質向上の強化をはかり、商品の入荷から集品、事業所への納品、そして組合員さんへのお届けまで品温管理強化をはかる施設として運用いたします。冷凍商品の取扱い品目を330品目（現行+100品目）のセットが可能になり、将来的には420品目まで対応可能な施設です。少子高齢化対応として少量規格の実現、生活基礎商品の充実をはかること、そして生協の強みである産直商品・コーポ商品の強化を実現していくための施設であります。

また物流機能の集中化によるスケールメリットをはかり、会員生協経営に貢献するものです。



# 東日本大震災復興積立金の状況と「安心してすめる『福島』を取り戻すための募金」への贈呈式の報告



## あたたかいご支援ありがとうございます。

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申上げます。

あの日から1年と半年が経過しましたが、いまだに瓦礫処理に手がついていないところもあり、本格的な復興とはいえない状況です。福島県では地震・津波に加え東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、いまだに立ち入る事さえも出来ない地域があります。

コープCSネットでは、昨年、食品カタログ(中国地区5生協)の表紙・裏表紙の商品について1点につき1円の復興支援金12,477,479円、非食カタログ(キャロット)(中国地区5生協・四国地区4生協)の全商品1点につき1円の復興支援金4,359,273円、復興支援バンドの利用高1,833,010円 合計18,669,762円を被災地の生協と被災された取引先・生産者にお届けしました。ご協力いただきありがとうございます。

今年も昨年と同様、2012年4月1回～2013年1月5回の期間、食品カタログと非食品カタログの利用点数1点につき1円の復興支援積立を行っています。

8月末までの復興積立金は総額11,070,187円となっています。

日本生活協同組合連合会で取り組んでいる「安心してすめる『福島』を取り戻す募金」へ贈呈することとして福島県生活協同組合連合会(福島県内の会員生協)に目録をお届けしました。

9月20日(木)福島市内 福島県生活協同組合連合会で「安心してすめる『福島』を取り戻す基金」への目録贈呈式を行いました。

コープCSネットを代表しておかやまコープ 田中敦子理事、コープやまぐち 中山光江理事に贈呈式に参加いただき、福島県生活協同組合連合会 熊谷会長に目録を贈呈しました。

贈呈した積立金は各会員生協から日本生活協同組合連合会「あんしん福島募金」に振り込まれ、日本生活協同組合連合会を経由して下記の機材の購入に充てられます。

- ・食品の放射能測定器 30台 4,800万円(1台160万円)
- ・内部被ばくの検査装置 2台 8,800万円(1台4,400万円)

福島県では、原発事故後、行政による食品の放射能物質汚染の調査や一部県民を対象とした内部被ばくの検査がすすめられています。しかし、毎日の暮らしの中での食品への不安や、内部被ばくによる将来的な健康不安はなかなか解消しきれていません。身近な地域で食品検査や内部被ばくの検査ができるように検査機器を導入し、福島の方々にとって安心して住める地域を取り戻す事につなげます。

引き続き、復興支援積立の取り組みを継続いたします。ご協力、宜しくお願ひ致します。



目録を贈呈しました  
左から 中山理事 熊谷会長 田中理事



福島県生活協同組合連合会より  
感謝状をいただきました



主旨を報告されている田中理事

### 2012年8月末までの復興支援金積立状況

#### 会員生協別積立額(募金拠出額)

会員生協名	食品積立額	非食品積立額	合計積立額	合計積立額(税込)
鳥取県生協	597,025	138,229	735,254	772,016
生協しまね	694,583	170,587	865,170	908,428
おかやまコープ	2,516,198	564,981	3,081,179	3,235,237
生協ひろしま	3,204,312	643,086	3,847,398	4,039,767
コープやまぐち	1,169,681	279,240	1,448,921	1,521,367
とくしま生協		185,120	185,120	194,376
コープかがわ		215,650	215,650	226,432
コープえひめ		469,143	469,143	492,600
こうち生協		222,352	222,352	233,469
合 計	8,181,799	2,888,388	11,070,187	11,623,392

詳しくはコープCSネットホームページ <http://www.csnet.coop/> をご覧ください。

# 「コーパスCSネット 非食品商品事業本部 第13回 重点商品学習交流会開催

日時／2012年8月2日(木) 会場／おかやまコーパスオルガ

「学んで、活かして、確信へ！」をテーマに開催してきました「重点商品学習交流会」も今回で13回目を迎えました。中国地区、四国地区9会員生協から79名の参加がありました。

はじめに小泉専務理事より2012年度上期の供給状況、

下期の課題、参加いただいた取引先の方々への御礼など開会の挨拶がありました。続いて、主催者を代表して青山非食品商品事業本部本部長より2012年度下期の取り組み・重点商品学習交流会の趣旨等の報告が行われました。浦上統括部長より本日のすすめ方の説明があり、早速10のブースを各8分でまわる形式で学習に入りました。説明の時間と質問の時間はつきり分けたことで、各ブースでは積極的に質問や交流ができました。

昼食をはさんで午後からは、2012年2月以降の供促Iの優秀者の表彰と発表がありました。

最初に6月1回洗剤キャンペーン3部門MVPコーパスえひめ四国中央支所宮野徳明さん、7月1回コアノンロールキャンペーン会員生協優秀賞コーパスやまぐち周南東センター橋本和也さん、こうち生協高知南国支所利岡敦夫さんの表彰が行われました。

その後、コーパスえひめ四国中央支所宮野徳明さんの洗剤、コーパスやまぐち周南東センター橋本和也さんのコアノンロール、コーパスえひめ松山北支所井上耕介さんより羽毛布団の事例発表がありました。



左から 橋本さん 宮野さん 浦上統括部長 利岡さん



青山非食品商品事業本部本部長 小泉専務理事

どの発表も組合員さんの暮らしを探り、生活に合わせた活動の組立と、日常の配達業務の中で組合員さんとコミュニケーションをとっていることが伺えました。

その後、「羽毛ふとん」「スクワラン」「消火器」「オレンジングパワー」「プレスサーモ」5テーマ・9テーブルで分散会を開きました。

分散会では会員生協の成功事例・悩み・スキルの交流と各部署での役割り分担など熱心な交流がすすみました。

分散会で話し合った内容を各グループ代表者から、会員生協での活動にどう活かしていくかの視点で発表がありました。

最後に浦上統括部長より、今後とも9生協各事業所と連帯・交流を深め全会員生協で目標達成できるよう推進していくことと、参加いただいたお取引先への御礼を述べ閉会となりました。

参加いただいた方からは、各会員生協の取り組み事例・悩みの交流によって、具体的な行動計画を策定できるとの力強い言葉と、この交流会の内容を会員生協に持ち帰り事業所の仲間と共有するとの言葉がありました。



浦上統括部長



ブースでの学習



ブースでの学習



グループ分散会



コープえひめ松山北支所  
井上耕介さん



コープやまぐち周南東センター  
橋本和也さん



コープえひめ四国中央支所  
宮野徳明さん

# コードCSネット 商品企画部 2012年度 第2回 重点商品試食学習会

日時／2012年9月17日(月) 会場／おかやまコード オルガ

2012年度第2回重点商品試食学習会を9月17日(月)おかやまコード オルガで、中国地区5会員生協より75名、お取引先様39名、コードCSネット職員36名合計150名の参加で開催しました。

今回は、2012年下期表紙重点商品、年末予約、迎春予約、クリスマス予約企画などを中心に、対象商品を絞り込み、5会員生協全体で過去最高実績をつくることを開催の最大目的としました。

コードCSネットと会員生協、及び会員生協間で「体感のある取り組み」をめざしています。

具体的には、お取引先様・コードCSネットバイヤーから商品説明を聞き、試食し質問をしながら自分の言葉で組合員さんにお伝えできるようになること、学んだことを会員生協でのリーダー役を務めていたしたこと、会員生協の繋がりや想いの共有化をはかり、一致団結して取り組むことを獲得目的とした。

当日、台風の影響で新幹線が遅れ心配しましたが、10時開会にはなんとか全員着席いただきました。

最初に主催者を代表して小泉専務理事より、会員生協参加者・お取引先様へのお礼と、この学習会の目的など開会の挨拶がありました。その後、真木常務理事より「2012年下期、ORSC稼動に向けての宅配事業改革について」基調報告がありました。

その後、水産課、畜産課、日配課、ドライ食品課、味彩ギフト課5つの商品部各課別に会場を固定し、会員生協毎に会場をまわり、プレゼン及び試食を行いました。1つのブースに40分の時間をとり、まずは着席いただき、20分間試食対象商品ラインナップ及び各課方針等を簡潔に説明し、試食商品についてバイヤー・お取引先様よりプレゼンを行いました。説明の後、20分間の試食時間をとりました。質疑応

答の時間をしっかりと確保することでバイヤー・お取引先様と交流ができるようにしました。参加者からは、メリハリがあり、しっかりとバイヤー・お取引先様と質疑応答でき、商品についてより理解が深まったとのご意見をいただきました。

試食学習会の後、11のグループにわかれ会員生協間の交流を行いました。コードCSネットの職員もグループに入り参加者と一緒に交流しました。

今回はテーマを『生ズワイガニ』の取り組みに絞って、昨年の成功事例、失敗事例等を予め記入した事前シートを持ち寄り交流しました。事前シートを用意したこと、焦点の絞込みもでき、活発な交流会となりました。

また、センター・支所・チーム全体での取り組み内容、それを実行するための行動計画や、グループの交流で意思統一できたことなどを交流しました。交流後2つのグループの代表者(生協ひろしま尾道支所松田さん、おかやまコード津高支所垣内さん)の方より、交流内容や取り組みにあたっての決意を発表いただきました。

最後におかやまコード宅配運営グループ 小倉さんより、今回参加いただいたお取引先様への感謝と、この重点商品試食学習会で学んだことを自信をもつて組合員さんに伝えること、会員生協でのリーダーとしての役割りを果たしていくとの力強い言葉で締め括っていただきました。



おかやまコード 小倉さん



生協ひろしま 松田さん



生協ひろしま



おかやまコード



コードやまぐち



生協しまね



鳥取生協

## グループ交流報告書・参加者アンケートより

料理提案をしっかりとします。昨年予約された方に必ず声をかける。部内の役割分担を決めて取り組むなど、会員生協での具体的な取り組みが大変参考になった。現場で何をしなければならないか?多くの気付きました。交流によって会員生協の行動が大きなヒントになった。もうすこし交流の時間がほしい。他生協さんとの交流はほんとうに役立った。組合員さんの喜ぶ顔をイメージしながら組み立てる。お取引先様、バイヤーの丁寧な説明に感謝、実績でお返ししていきます。など、たくさん感想をいただきました。

# 第9回 仲間づくり研修会開催

日時／2012年8月16日(木)～8月18日(土) 会場／山口県宇部市(COCOLAND山口・宇部)

2012年8月16日(木)～8月18日(土) 2泊3日の日程で 山口県宇部市(COCOLAND山口・宇部)において『第9回コープCSネット仲間づくり研修会』が開催されました。

中国四国地区5会員生協より27名の参加がありました。2日間で1,468軒のお宅を訪問し、グループワークで作成したトーク(会話のきっかけをつくる「基本トーク」「対応トーク」と商品をおすすめする「商品トーク」)を実践しました。2008年2月に鳥取県で開催して以来、9回目を向かえ会員生協からの参加者は累計309名になりました。グループワークの進行役を担っていただく運営リーダーは累計37名となりました。

仲間づくり活動は、生協活動のすべての基礎数値となるもので、地域の方に生協を知っていただき加入いただく活動です。仲間づくりは、生協職員が消費者のお宅を訪問し、生協についての説明、加入いただくことを主たる業務としています。個人の業務活動になることが多い、一般消費者への対応や説明内容にマニュアルはあるものの、自己流になりがちです。研修会では、仲間づくり活動をグループワークやお宅訪問(フィールドワーク)を通して、日常の活動を振り返り「自分に足りないもの」を見つめ直し、仲間づくり活動の重要性を確認します。また運営リーダーはグループ運営をするマネジメントを実践する場でもあります。生協で働いている私達すべてが、知っておかなければならぬ活動でもあります。

これまで日本生協連会員支援本部から応援をいたしましたが、関わりが変わり、今回より総合司会を開催県のコープやまぐち 重村さんに担っていただきました。

参加者には、より身近に感じていただけた研修会となりました。



グループワーク



フィールドワーク出発



総合司会コープやまぐち  
重村さん

運営リーダー紹介

## 研修会終了後 事後レポートより 研修生の代表的な御意見

- グループでの活動はとても良かった。
- 他生協の方々と交流ができる、連帯感も生まれ頑張ろうと言う気持ちになった。
- 会員生協によって仲間づくりの体制も役割も大きく異なっており、目標の持ち方も異なっていることを知った。
- 参加者の経験年数や職位職階も異なっているが、生協という組織で働いている意味を自覚することができた。
- 改めて、自分の仕事を書き出したことで、振り返りができた。
- 気づきから、スキルアップの必要性を強く感じ取った。
- 仲間づくりの中心はやはり商品であり、一般的な商品知識ではなく、生活シーンからの商品知識が必要と強く感じた。
- 生協のサービスや手数料の説明も重要なだけでなく、やはりその方の暮らしぶりから商品のおすすめをし、生協ファンになっていただくことを目指す。
- 自分自身の事例をしっかり見ていただくことで、いろんなヒントをいただけた。
- コープやまぐち 坂本さんの仲間づくり活動報告が大変印象に残った。坂本さんの熱い想いが伝わってきた。
- 改めて、事前準備の大切さを感じた。
- 組合員さんからの力、協力、情報が大切だということが分かった。
- 組合員さんの注文されている商品に関心を持ち、組合員さんに教えていただく視点も大切と思う。
- 自分自身では感じていなかった事を指摘いただき、それが大きな気づきに繋がった。
- 相手に興味をもつことの重要性を肌で感じた。
- 自分のスタイルを否定することが、この研修会での一番の収穫でした。
- 研修のスタイルがグループで決めて、実際にフィールドに出て実践し、それをグループで検証し、またフィールドで試し、グループで検証を加えることで、より問題点が浮き彫りになった。
- 相手の方のお話を引き出すことの重要性とそのために自分の引き出しを多くしておくこと、それは人間性や人柄を磨くことに繋がっていることを強く感じた。
- アンテナを常に拡げ、情報収集することの大切さを感じることができた。
- 商品を利用継続していただける視点で、仲間づくり活動を組み立てていくことの重要性を学びました。
- 今回学んだことを部下に分りやすく伝えていきたい。
- この研修会は、マネジメントを学ぶ実践の場と強く感じた。自分のチームで実践していく。
- クロージングを意識したトークの重要性を学んだ。

その他、今後の研修会について多くの御意見をいただきました。第9回仲間づくり研修会に寄せられた御意見としては、多くの方から「自分の仕事を振りかえる絶好のチャンスをいただいた」「多くの方と交流できた」「この研修会を機会に自分の行動が変わった」などの声をいただきました。来年の第10回目の研修は、生協ひろしまでの開催予定です。

# 2012年度上期 コープCSネット開発商品紹介

2012年4月1回から9月4回までのコープCSネット新規開発商品、改善商品・コープCSネット留め型商品(コープCSネットが指定する商品仕様で開発した商品)の新規商品・中四共同開発商品(日生協と共同して開発商品)合計17品目の取扱いを開始しました。

No.	開発区分	部門	区分	企画回	商品名	規格	供給価格
1	CS独自	日配	改善	4月1回	CS お弁当用肉だんご(テリヤキ味)	385g(3個(55g)×7)	398
2	CS独自	ドライ	新規開発	4月4回	CS 広島産大豆使用麦こうじみそ	750g	378
3	CS独自	ドライ	新規開発	5月1回	CS 有明海産味付のり	10切120枚	378
4	CS独自	水産	新規開発	5月4回	CS 広島県産小さいわしサクッと天ぷら	190g	398
5	CS独自	日配	新規開発	8月1回	CS 朝日米を使った梅としらすのピラフ	250g×2	398
6	CS独自	日配	新規開発	9月1回	CS 北海道産大豆の小粒納豆	45g×3	128
7	CS独自	日配	新規開発	9月2回	CS 牛肉たっぷりコロッケ	250g(5個)	248
8	留め型	日配	新規開発	4月2回	手もぎ紀州産南高梅(しそ漬)	300g	598
9	留め型	日配	新規開発	4月3回	手もぎ紀州産南高梅(蜂蜜漬)	300g	598
10	留め型	畜産	新規開発	4月4回	生バジルのささみカツレツ	200g4枚	398
11	留め型	水産	新規開発	5月2回	朝獲り活いか(いかソーメン)	60g×2 たれ付	398
12	留め型	水産	新規開発	5月3回	さば胡麻みりん干し	2枚240g	398
13	中四共同	ドライ	新規開発	4月3回	CO つゆ2倍濃縮	600ml	198
14	中四共同	日配	改善	9月1回	CO いろいろミニおでんセット	10種20個	398
15	中四共同	日配	改善	9月2回	CO あつあつおでんだねセット	7種14個	298
16	中四共同	ドライ	改善	9月2回	CO フルーツキャロットミニ(ケース)	125ml×24(ストロー付)	1,680
17	中四共同	日配	改善	9月4回	CO 具たっぷり豚まん	238g(6個)	298



**5月1回**  
広島県産大豆使用  
麦こうじみそ

規格: 750g  
通常価格(税込): 378円

- 大豆は広島県産大豆を使用、麦は国産の大麦で丹念に仕込んだ“旨いぞひろしま”商品です。
- 塩は瀬戸内の海水から作られた「備前岡山のほん塩」を使用し、塩分を11%以下におさえたうす塩味タイプ。



**5月1回**  
**有明海産味付のり**

規格: 10切120枚  
通常価格(税込): 378円

- 主原料の乾海苔は、やわらかく、口どけの良いパリッとした食感が特徴の有明海産3等級以上を使用しました。
- 味付けは、化学調味料不使用で、広島県特産の「海人の藻塩」でまろやかさを、あご節等でコクを出し、素材のうま味を活かす味付としてあります。



**5月4回**  
広島県産  
小さいわし  
サクッと天ぷら

規格: 190g  
通常価格(税込): 398円

- 広島県産の小さいわし(カタクチイワシ)を使用しました。
- 原料鮮度を落とさない様に、漁獲直後から低温で管理しています。
- 少量の油でフライパン調理もOK。手軽に調理いただけます。



**8月1回**  
**CS朝日米を使った  
梅としらすのピラフ**

規格: 250g×2  
通常価格(税込): 398円

- お米は岡山県産朝日米を100%使用。
- 梅の風味を活かした程よい酸味のあるピラフに仕上げています。



**9月1回**  
**CS北海道産大豆の  
小粒納豆**

規格: 45g×3(納豆・たれ・からし)  
通常価格(税込): 128円

- 北海道苫前町産(ともまえ)の、小粒大豆を使用しました。
- 大豆品種は風味が良く、小粒で食べやすい「ユキシズカ」を使用しています。



**9月2回**  
**CS牛肉たっぷりコロッケ**

規格: 250g(5個)  
通常価格(税込): 248円

- おいしさの秘訣である牛肉は、オーストラリア産牛肉を24%配合しています。
- 主原料の「ばれいしょ」と「たまねぎ」は、国産を使用しています。  
(牛肉コロッケと表示するには、  
牛肉配合率8%以上)

## 2012年度「もづく基金」実績

コープCSネットでは、恩納村漁業協同組合が取り組む「里海づくり・サンゴ礁の海を守り育む」活動に会員生協(鳥取県生協・生協しまね・おかやまコープ・生協ひろしま・コープやまぐち・コープかがわ)と共に取り組んでいます。毎年、共感の和がさらに広がっています。

2010年4月から、恩納村、もづく製造メーカーである株井ゲタ竹内も含めた4者で「サンゴ礁再生事業支援協力協定」を締結し、もづくの供給に応じて基金を積み立てる「もづく基金」に取り組んでいます。

2010年度1,690,720円 2011年度2,049,907円を「もづく基金」としてお届けしました。  
2012年度4月～8月までの基金は、1,142,274円となっています。ご支援ありがとうございます。



会員生協	宅 配		店 舗		合 計	
	利用点数	基金額(円)	利用点数	基金額(円)	利用点数	基金額(円)
鳥取県生協	32,778	65,556			32,778	65,556
生協しまね	34,909	69,818			34,909	69,818
おかやまコープ	152,853	305,706	45,475	55,516	198,328	361,222
生協ひろしま	180,746	361,492	11,844	21,698	192,590	383,190
コープやまぐち	668,394	136,788	8,077	16,154	676,471	152,942
コープかがわ	50,807	101,614	4,423	6,932	55,230	108,546
合 計	1,120,487	1,040,974	69,819	100,300	1,190,306	1,141,274

### 「もづく基金」産地見学・生産者交流会を開催しました

【沖縄県恩納村 8月21日(火)～8月23日(木)】

今回は、親子による参加で沖縄の海の状況を知り、恩納村漁協がすすめる「里海づくり」活動を中心に次世代に繋げる取組みとして産地交流会を進めました。

会員生協より親子17組34人、会員生協職員7人、コープCSネット職員3人、合計44人の参加がありました。

#### 8月21日(火)

恩納村ふれあいセンターにて「里海づくり」の学習をしました。  
サンゴ礁や海藻がすみつく食物を提供し、生態系(漁業活動  
もその一部)に寄与していることを学びました。  
サンゴを増やすことの大切さ、「もづく」がどう環境保全に  
役立っているかを学びました。

実際にグラスボートにのって海の様子を見たり、干潟の学習・  
サンゴ移植体験など盛りたくさん学習と体験をしました。



グラスボートでサンゴ礁を確認

#### 8月22日(水)

前兼漁協でもづく加工場 海ブドウ養殖場 もづく水揚を見学しました。

##### もづく加工場

加工場では白衣に着替えて「もづく」選別の見学をしました。

##### 海ブドウ養殖場

海ブドウの開発から商品化販売に至るまでの話を感動をうけました。

##### もづく水揚

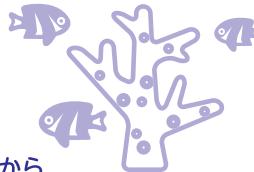
シーズンが終了しているため、実際に動いている場面は見ることはできませんでしたが、手順についてお話をいただき充分理解することができました。



もづく選別作業を見学



海ブドウ養殖場見学



サンゴ移植体験

#### 8月23日(木)

沖縄の文化と平和に触れました。

##### 首里城の見学、沖縄平和記念公園(資料館)の見学

今回は参加者全員が事前学習会に参加され、もづくとサンゴ礁の関係から里海づくり、もづくの加工状況など「もづく基金」の取組み目的を理解いただけたかと思います。結果として参加者に隔たりなく、恩納村での産地見学・生産者交流に望むことができました。現地での学習会は生産者をはじめとする多くの人の交流を通じて、親子で理解を深め共感を広げることができました。

詳しくはコープCSネットホームページ <http://www.csnet.coop/> をご覧ください。

発行:2012年10月5日・通巻31号 発行責任者:三橋幸夫 発行事務局:総合企画室

生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合 TEL:082-236-6832